

## ミシマサイコの播種を行いました

「ミシマサイコ」という植物をご存知ですか？

ミシマサイコの根は生薬「紫胡」とよばれ、解熱・鎮痛作用があり漢方処方に用いられる薬草で、生薬として根を育てる場合は、花は咲かせないように切ってしまうそうです。

青木村では約30年前から、生薬であれば咲くことのないミシマサイコの花を切り花として栽培してきましたが、近年は生産者・生産量ともかなり減ってしまいました。

そこで、もう一度ミシマサイコの栽培者を増やし、栽培を拡大するため、平成29年に青木花卉出荷組合ミシマサイコ部会が立ち上げられました。

部会の皆さんは、野菜栽培や他の花の栽培はプロ並みの方々ですが、ミシマサイコの栽培は初めてという方も多く、部会の中で栽培の方法を相談したり、情報共有をするなど、お互いに刺激を受けつつ、栽培されています。

12月12日には8人の部会員が集まり、来年定植する苗の採取作業を共同で行いました。

当日は、今年の出荷・生育状況や、栽培のコツを伝えあったり、たくさん出荷したら旅行に行こう！と楽しい会話をしながら和気あいあいと作業をしていらっしゃいました。

今回播種した3～4mmのミシマサイコの種が、来年の夏ごろには1m近い草丈になります。そして、カスミソウのような小さく、可憐な黄色の花をたくさんつけるのを楽しみにしたいと思います。

